

# みなと元町 TOWN NEWS



発行:みなと元町タウン協議会 住所:〒650-0022 神戸市中央区元町通3-13-1協和会館内 発行人:奈良山喬一 編集人:岩田照彦 電話・FAX:078-391-0831

## 「らしさ」の呪縛から解き放て!

合資会社ゼンクリエイト 根津 昌彦

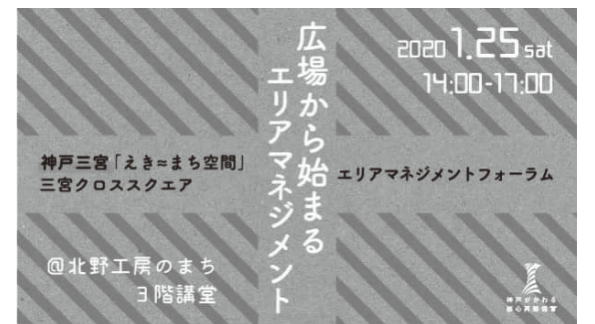
1月25日(土)の午後、私は久しぶりに市民フォーラムに参加した。「広場から始まるエリアマネジメント」と題したフォーラムは、今後三宮交差点の東西南北の一定区間に整備しようとしている「三宮クロススクエア」とその周辺街区である「えきまち空間」のエリアマネジメントの在り方について、全国的なエリアマネジメントの権威である小林重敬先生(横浜国立大学大学院工学研究院特任教授)の基調講演、全国のエリアマネジメントの先進事例に関わっている方を招いてのパネルディスカッションというプログラムで、大いに語り合うというものであった。

具体的な基調講演、パネルディスカッションの内容の紹介は別の方に譲るとして、参加して私自身の心の中でこれまでからモヤモヤとしていた思いが晴らされる瞬間があったので、それを紹介したいと思う。基調講演後に参加者からエリアマネジメントに関して、パネラーへの質問を付箋に書いて提出するという時間があり、多くの参加者がまじめに付箋を提出されていた。その中で、「神戸らしさとはなんでしょうか」という問いかけをパネラーにされた方が多いと進行役の忽那裕樹さんが報告。そこで、基調講演をされた小林先生が一言、「らしさからスタートすると、それに縛られてしまう。思考が止まってしまう……」聞き取れた言葉が一言一句この通りであったかは自信がないが、確かにおっしゃられた内容がこういうことだった。私たちがまちづくりの現場で将来像について地域の方々と話したり、行政の担当者や新たな施策づくりについて議論したりするとき、いつも「何々らしさ」「神戸らしさ」といったことについて、話をする場面があるが、なかなかすっきりした答えにたどり着くことができなかつた。「～らしい」というのは人によって随分と考えや感じ方が変わるものであり、らしさを起点にして未来のハピネスを志向しようとしても思考が止まってしまうという示唆は、目からうろこであった。この言葉を受けて忽那

さんが発した「らしさは纏っているもの」というワードにも大きく頷いた。今からさかのぼること20年前、2000年からの8年間ほど、大阪をアフター5や休日の活動拠点としていた私は、3つの大人のクラブ活動に力を注いでいた。「大阪ええはがき研究会」「もうひとつの旅クラブ」「三休橋筋愛好会」という集まりである。この3つの活動の共通のコンセプトは、誰もが思い描く大阪らしさの象徴である「吉本・たこやき・タイガース」からの脱却であった。大阪には、ステレオタイプ化された大阪ではない魅力がたくさんあるのに、大阪で暮らしていない人は全然それを知らない。大阪の魅力を伝え、大阪のまちを楽しんでもらうには、まずは自分たちが大阪を楽しんでいる様子を多くの人目に触れるようにしようじゃないか!ということで、3つの活動のために、当時は随分と時間を注いでいたことを、先の「らしさ」の話を聞いたときにふと、思い出したのである。

少し話は逸れるが、親が兄弟を叱るときに言うてはいけないことの一つに、「お兄ちゃんらしく我慢しなさい」の「らしくしなさい」という言葉だとある人から聞いた。私自身長男なのだか、記憶をたどったとき、そういえばそのような叱られ方をした覚えはない。それはひょっとすると父や母が伸び伸びと育つように「らしさ」という言葉を封印していたのかもしれない。同時に、こんな言葉も思い出した。私が以前勤めた会社を辞めて自分でコンサルタント会社を立ち上げようと考えて、母に相談したときのこと。「もうそうしたいと決めているんでしょ?それならあなたの思うように、あなたらしく生きたらいいんじゃない。」社会人になったときから独立しようなんて考えて仕事をしてきた訳ではないが、子どものこ

から学級委員長や生徒会長、野球部キャプテン、合唱部長、そして指揮者を務めてきた私をずっと見てきた母には、独立して自分で会社をつくるということが「あなたらしい」、つまり独立心が自然と培われて、それをこの子は纏っていると感じ取っていたからこそ言葉だったのかなあと。「らしさ」とは、固定観念や行動規範ではなく、時間の経過の中で自然と溢れ出した結果、纏っているもの。これが今回のフォーラムに参加して、私なりにたどり着くことができた一つの答えである。これからの神戸の未来を考えた時、「らしさ」の呪縛から解き放たれて、自らができることを互いに提供しあい、寛容な心をもって空間や時間を他者と共有することが、神戸市民のハピネスにつながるという思想、哲学をもって、いろんなことに取り組みたいと強く思った一日だった。



三宮クロススクエア東側の将来イメージ。ここが市民のハピネスが詰まった空間となり得るか?

### 企業員紹介①

#### エスタシオン・デ・神戸



ハーバーロードと国道2号線が交差する東端の角に異国風のオシャレな高層建物がある。尖塔形の外観は、イタリアのトスカナ地方にある中世の堅牢な塔をモチーフにデザインしたもので、名称も欧風に「エスタシオン・デ・神戸」とした。エスタシオンは、スペイン語の駅を意味するが、人生の始発駅という意味もこめて1997(平成9)年1月、結婚式場として開業した。

おふたりの愛がひとつしかないようにおふたりのウエディングもひとつしかないはずです。想いのままに感じるままにおふたりが夢に描いてきたウエディングのカタチをひとつひとつ叶えていきたい

エンタランスホールは3階吹き抜けの総大理石造りで、西日本最大級のピアノを準備した。のピアノを準備した。

色々な挙式の形式に対応するため、神前式の二人には伊弉諾神宮を分祀した宮大工の手による総ヒノキ造りの八尋殿、教会スタイルの方には赤じゅうたんのパーズンロードとステンドグラスが目目をひく温かな雰囲気、聖テオドシオ



事業所 名称:エスタシオン・デ・神戸 住所:神戸市中央区弁天町2番8号 支配人:古賀野 正幸 電話:078-371-5111 URL: http://www.estacion.jp/

### 神戸元町商店街 楽市楽座 情報 2月

◆元町1番街商店街振興組合 Tel.331-7850 水曜日 2月19日(水)11時~19時

◆元町3丁目商店街振興組合 Tel.322-2797 酒米で味わう地酒飲みくらべin元町 2月14日(金)16:30~20:00 2月15日(土)14:00~18:00

◆風月堂ホール(有料) Tel.321-5555 第498回もどまち番席「徳雅亭」 2月10日(月) 桂華紋 桂香之輔 桂あさ吉 桂梅團治 林家花丸 桂米團治 前売券:1月11日より風月堂で発売



令和2年大相撲初場所、西方17枚目の「徳勝龍」が、結びの一番で下し初優勝した。二人の横綱が休場、というなかでの優勝だが、位置づけは幕内最下位。連勝は今日で終わるか、と毎日ドキドキハラハラだったが、最終日の取り組みを見て、いよいよこれで終わり、と観念した人は、私を含め多数派だったのではないかと。地元の奈良では、役所が1室に父親と地元のファンを集めてささやかな応援の場を演出、その会場をテレビ画面で見ていると、ちよっぴり奇跡への期待も膨らんだ。そして大関との真つ勝負で手にした優勝杯、おめでとうの祝意に「自分なにかが優勝していいんぞ、教えてくれた17枚目の「よこづな」に来季も期待して。

### 栄町通クリーン作戦

栄町通まちづくり委員会は、1月10日(金)10時から10時30分まで、栄町通を中心に、ゴミ拾いと不法ビラ撤去、自転車・バイクなどへの不法駐輪警告チラシ取り付け作業など、栄町通クリーン大作戦を実施した。

参加者は、(元栄海三丁目協和会)奈良山喬一、(広島銀行)曾我部真介、(兵庫県信用組合)三野健太郎・長濱孝明・上堀佳代・田中祥平、(㈱KKテクノ)松尾拓弥・上野麻潤・吉田零、(㈱神明)野間萌夏、(神明倉庫㈱)十時美希、(㈱イーエスプランニング)西 晶子・川上至、(三鈴マシナリー)野田常美、(佐野運輸)北島幸宏・末松明、(新光明飾)中川俊・西村友博、(佐田野不動産)佐田野宏之以上19名のみなさんでした。

毎月第2金曜日午前10時、栄町通6丁目佐田野不動産前集合の上、実施しています。お気軽にご参加ください。



### 編集後記

令和2年大相撲初場所、西方17枚目の「徳勝龍」が、結びの一番で下し初優勝した。二人の横綱が休場、というなかでの優勝だが、位置づけは幕内最下位。連勝は今日で終わるか、と毎日ドキドキハラハラだったが、最終日の取り組みを見て、いよいよこれで終わり、と観念した人は、私を含め多数派だったのではないかと。地元の奈良では、役所が1室に父親と地元のファンを集めてささやかな応援の場を演出、その会場をテレビ画面で見ていると、ちよっぴり奇跡への期待も膨らんだ。そして大関との真つ勝負で手にした優勝杯、おめでとうの祝意に「自分なにかが優勝していいんぞ、教えてくれた17枚目の「よこづな」に来季も期待して。

